

## 第7回議会報告会開催結果

### 開催日程

開催日時	説明班	会場	所在地	参加者数
4月18日(月)	第1班	第二公民館	垣鼻町	17人
	第2班	宇気郷地区市民センター	袖原町	15人
	第3班	米ノ庄公民館	久米町	19人
	第4班	漕代地区市民センター	早馬瀬町	28人
4月20日(水)	第1班	仁柿小学校(休校中)	飯南町上仁柿	25人
	第2班	中原文化センター	嬉野田村町	11人
	第3班	大河内地区市民センター	大河内町	18人
	第4班	港地区市民センター	大平尾町	7人
4月22日(金)	第1班	西黒部市区市民センター	西黒部町	18人
	第2班	第一公民館	殿町	19人
	第3班	飯高保健センター	飯高町森	7人
	第4班	嬉野宇気郷公民館	嬉野小原町	28人

### 議員の班構成

第1班	○西村 友志	楠谷さゆり	松岡 恒雄	植松 泰之	中村 良子	今井 一久	田中 力
第2班	○大平 勇	深田 龍	堀端 脩	野呂 一男	山本 節	松田 千代	前川 幸敏
第3班	○海住 恒幸	西口 真理	沖 和哉	大久保陽一	永作 邦夫	中島 清晴	久松 倫生
第4班	○松田 俊助	米倉 芳周	坂口 秀夫	山本 芳敬	川口 保	濱口 高志	水谷 晴夫

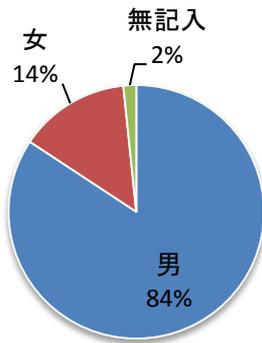
○は各班の代表者

# 第7回議会報告会アンケートから

○回答者総数:185人(回収率87.3%)  
○配付人数:212人(平均17.7人/会場)

## ■性別

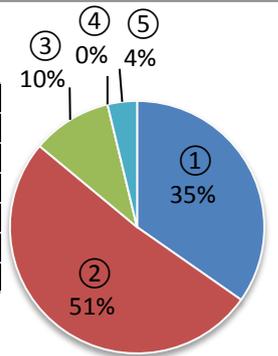
性別	人数(人)
男	156
女	26
無記入	3
合計	185



## ■報告内容について

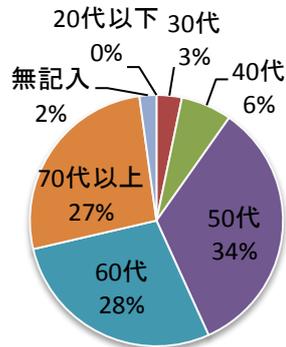
設問	人数(人)
①よくわかった	65
②ある程度わかった	96
③あまりわからなかった	19
④全くわからなかった	0
⑤無記入	7
合計	187

(複数回答)



## ■年齢

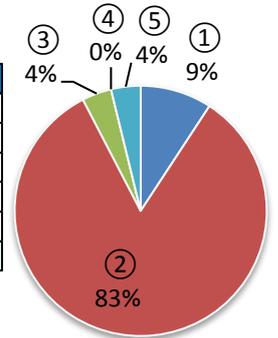
年齢	人数(人)
20代以下	0
30代	6
40代	12
50代	62
60代	52
70代以上	49
無記入	4
合計	185



## ■説明時間について

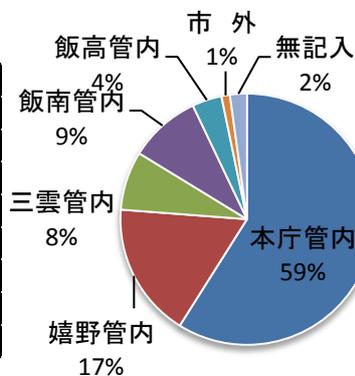
設問	人数(人)
①長かった	17
②ちょうど良かった	154
③短かった	7
④その他	0
⑤無記入	7
合計	185

(複数回答)



## ■住所

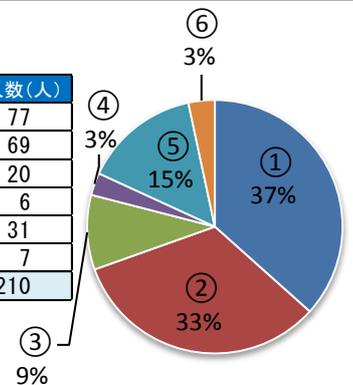
住所	人数(人)
本庁管内	109
嬉野管内	32
三雲管内	14
飯南管内	17
飯高管内	7
市外	2
無記入	4
合計	185



## ■周知について

設問	人数(人)
①チラシ、回覧版	77
②広報まつさか、市議会だより	69
③市議会ホームページ	20
④ケーブルテレビ	6
⑤その他	31
⑥無記入	7
合計	210

(複数回答)



### 【その他の意見】

自治会  
友人・知人  
市議員  
住民協議会

## 第7回議会報告会のアンケートでいただいたご意見・ご感想は以下の通りです。

### 【議会報告会全般について】

<ul style="list-style-type: none"><li>・作られたスライドも説明もすばらしく、大変良かった。</li><li>・このスライドは議会のHPなんかで動画として見るができる様にしてはどうか。出席は人数が少ないのでHPの活用が良いと思う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・パネルを使った説明でわかりやすかった。</li><li>数字のことはピンとこないのわからない。</li><li>議会報告会に参加して行政のことがよくわかりました。</li><li>議員さんと対面出来てとてもよかった。</li></ul>
地域の話も出来てよかった。 市議さんの説明も丁寧で、親切であった。
意見交換などは大変意義がありました。
定期的な開催が望ましいです。
議会の内容を市民に理解してもらうことは、とても大切なことです。市民の意識の高まりが、参加者の増加となるようPRが必要かと思えます。地域の動員も必要かと。その場に出てきてもらわないと…。行政の細かいところを議会に聞くのはどうか…。
前回より質問の時間が設けられ良かった。
その地域にあった話題を入れてもらったらいいなと思います。
<ul style="list-style-type: none"><li>・よかった。</li><li>・議員さんまじめ。</li></ul>
・質問に対して的確な答えがもらえなかったように思う（資料について）。例えば、「…だと思っています。」とか、「確か…ような気がします。」など、いわゆる「げなげな話」に終わってしまったようである。
年に一回は地区の報告会をお願いしたい。
パワーポイントを使用して説明していただいたのでわかりやすかった。
はじめて議会報告会に参加しましたが、大変勉強になりました。議員の方もがんばってもらってる事がよく解りました。これからも松阪市の為にがんばって下さい。
良かった。事業の説明のところで、この事業は「〇〇をこうしようとする事業で…」と、簡単なそもそもの事業の内容をもう一度お願いします
<ul style="list-style-type: none"><li>・参加者が少ないのが残念であった。</li><li>・風力発電の件について 周辺地域の同意を最重点に考えてほしい。</li></ul>
会派を超えて「議会」として実施されていることが、素晴らしいことだと思います。
<ul style="list-style-type: none"><li>・折角の報告会ですが、住民の参加が少ないのが残念です。</li><li>・見直されるお考えはあるのでしょうか？やり方があるはずですよ。</li></ul>
Q&Aが少なく、地域性をかんがみ、地域課題をテーマとするなどの個別性をと、せんえつながら感じました。
議会を構成する議員の方から直接お話が聞ける機会ができて良かった。
参加者が少なかった印象で住民として少しさみしく思うとともに、地域住民の関心のうすさを感じました。日々がんばっていただいているのにと感じました。
パワーポイント資料が上手く作ってあり、非常に分かりやすかったです。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の住民が少ないのが残念。</li> <li>・住協・自治会長あたりに依頼しては？</li> </ul>
<p>議会側の参加者にできるだけわかってもらおうとする議員の姿勢が伝わった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会に多数参加できるように広報してほしい。</li> </ul>
<p>第6回の報告会よりも説明がわかりやすかったです。</p>
<p>もう少しゆっくり話してほしかった。</p>
<p>色々聞いて良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>大変、議員さんが市民に対して努力されていることがよくわかりました。 尚、意見交換時間を多くとってください。</p>
<p>普段、情報源は夕刊三重の紙面で、市HPは情報量が多いこともあって、平面的な公示のような形が主なので、議論についても紙面経由で伝わります。</p>
<p>聞かせて頂いてよかったです。ありがとうございました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数が少ない。－この原因は何？原因追及していますか？</li> <li>・会場を変えてほしい。（閉館9：00）→閉館9：30か10：00の場所へ</li> </ul>
<p>今後も時々この報告会を計画して下さい。</p>
<p>毎回の事ながら、もっと身近な内容での説明は難しいものか？ 当然議会報告会である為、止むを得ないかも知れません。 当地区で40名近い出席であったが、最初の説明であった様に20日の報告会で出席者が7名という事は、この報告会が判りやすく身近なものであれば必然的に参加者が多くなるのでは。 内容が議員さんが判る事ばかりで、一般には程遠い内容説明と思う。 議会報告会を実施する事が満足に成っていないか？</p>
<p>もう少し柔らかい言葉で説明して下さい。固い言葉で頭に入らない。要点をつかむのに苦労します。頭の回転早くないので、もう少しゆっくり…。</p>
<p>本日の様な意見交換をお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が少ないので、その対策を考えてほしい。ごくろうさまでした。</li> </ul>
<p>参加者が少なく、もったいないですね。PRの工夫、動員のかげ方等、工夫が必要ですね。</p>
<p>説明スピードが早いと思われる。ただし、この時間でも無理だと思います。なにか良い方法がないものですか？</p>
<p>質問が議会関係のみの意見に限られていた為、残念（市長部局の質問はダメとの事）。 その他として、いろいろな分野での意見交換もしたいのだが！有意義な会でした。</p>
<p>可能な限りこのような機会を設けていただきたい。</p>

## 【議会・議員について】

松阪市のために行政とともにがんばってください。
市長が変わって議会も変わるのか？これから変わるのか？
議員の数が多。
議員の数を少なくしては？

## 【その他】

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 下水道への接続を強化して欲しい。</li><li>・ 学力向上に向け、市会議員、教育委員会も協力して欲しい。</li></ul>
高齢者増加の地ですので、先々が心配です。
市役所等に非常用電源は確保されていますか。熊本の震災では、真っ暗なかでの業務が多く見られ、主要な役所業務施設や避難場所には今後、設置をしていくようにしてほしい。ソーラーも良いが昼間だけですので、蓄電設備を備えたソーラーも考えて電源の確保を。
自家発電（小中水力）の補助を検討してほしい。 嬉野の獣害駆除数の少なさ。 太陽光の転売業者のしめだし。
市も合併になり大きくなった反面、小さな事がなかなか反映されない環境になっている。 市政モニター制度を一日も早く立ち上げて、一般市民の意見・要望、時として勧告等をくみ取り易いシステムを早急に設置して欲しい。
避難タワーの設置を進めてほしい。 契約ビルがない地区で優先順も検討されたい。 橋の落橋があればどこへ逃げるかシュミレーションされたい。



## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月18日(月) 午後7時00分～8時44分		
開催場所	第二公民館		
出席議員	西村友志 楠谷さゆり 松岡恒雄 植松泰之 中村良子 今井一久 田中力		
	司会進行者	楠谷さゆり	
	報告者	植松泰之 松岡恒雄	
	記録者	植松泰之	
参加人数	17名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成28年4月22日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会 第1班

代表者 西村友志

## 【主な質疑応答・意見等】

問 道路事故対策について、車の運転手のマナーが悪すぎる。スピードは出し過ぎるし、歩行者の方が逆に文句を言われてしまう始末。何か良い対策はないのか。

答 議会だけではなく、行政も警察も一つになって協力し対応していく必要がある。マナーの向上を図る一方で、まず歩行者用の歩道を確保しながら、カラー舗装などを施すのも一つの対策であろう。交通安全協会等にご協力いただくのも大切だ。

問 計画が持ち上がっている風力発電について、議会は条件さえ合えば賛成するのか。

答 環境アセス法の対象になった。地元住民の間で合意されれば議会として反対することはないであろうが、地元住民の合意がなければ事業として進められないと今年の11月議会で市長も答弁している。

問 市営住宅について、滞納整理を行うのに、退去してからの徴収は難しいと考えられるし、滞納期間が60ヶ月(5年)以上でないと訴訟を起こさないのは長過ぎるのではないか。

答 職員での徴収は負担が大きいということもあり、外部に滞納整理を委託することになった。また滞納者に対し、5年間、何も働き掛けをしないということではなく、極めて悪質なケースに対しての対応策だと考えていただきたい。

問 熊本地震が起きて大変な被害が出ている。避難所によっては救援物資が足りない所もあるようだが、松阪市は備蓄品をどれくらい準備しているのか。

答 平成26年3月から南海トラフ地震被害想定が見直され、松阪市の避難者数が5,100人から32,000人に上方修正された。5年掛けて96,000食(32,000人×3食分)を備蓄していく計画を進めているところである。

問 観光について、松阪市は長期プランを立て、松阪ブランドをつくっていくべきではないのか。

答 松阪市には多くの観光資源がある。確かにこれまではそれらを上手く活用してこなかったところがある。三井家との関係も強化していく必要もあろうと考える。

問 市内の道路の路面表示が消えてしまっている箇所が極めて多い。地元の人たちは分かっているけど市外から来る運転手には当然分からない。そのために事故も多く発生している。きめ細やかな整備が必要ではないか。

答 道路の状況があまりよくないことは認識している。時間はかかるが、道路事故対策緊急整備事業費でも予算を付けているので、各機関と協議しながら対応していく。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月18日(月) 午後7時00分～8時30分		
開催場所	宇気郷地区市民センター		
出席議員	大平 勇、 深田 龍、 堀端 脩、 野呂一男 山本 節、 松田千代、 前川幸敏		
	司会進行者	山本 節	
	報告者	堀端 脩、 松田千代、 大平 勇、 前川幸敏	
	記録者	前川幸敏	
参加人数	15名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成28年 4月25日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第2班

代表者 大平 勇

## 【主な質疑応答・意見等】

問 宇気郷地区は高齢化し過疎地域で空き家が増えてきたが、移住促進や当地区への転入等に対し補助金があるのか。

答 飯南地区には空き家バンク制度補助金はあるがそれ以外サポートはない。

問 防災対策は大丈夫か。

答 災害にはいろいろあるが防災対策は十分とは言い難いので、地区計画の中で考えを高めていかなければならない。近隣の明和町、伊勢市、津市には海岸海拔ゼロメートル地域に避難タワーがあるが松阪市にはない。

問 バス路線の継続は。

答 現在16路線あるがどれだけの利用状況か、そのことも考えなければならない。生活路線は継続して走るように示していきたい。

問 住民協議会で事務員の人件費はあるが役員に交通費は出ないのか。

答 住民協議会条例が附帯決議を付け制定され交付金の根拠ができたが、自治会と住民協議会との間には、あり方や運営など多くの諸問題を解決するため職員が中へ入って「みんなで協議する場」を持つよう条件をつけた。

問 高齢者の健康づくり対策は。

答 一次予防対策は比較的元気な方で包括支援センターが介護教室とか健康体操等で指導をしてくれる。それ以外では地元で自発的に宅老所を開設し、社協（赤い羽根）から補助金をもらい講演会をはじめ、生活指導なども受けながら楽しい時間を過ごすなど自主運営をしているところも多くある。

問 公共施設の耐震対策で要望を出してあるが。

答 一例ですが、西町では市に要望をしながら自分たち貯金もし、新しい施設になった。川井町では備蓄倉庫も造り備蓄米と味噌・醤油の分担も決め、ライフラインが中断してもプロパンガスも備え300食つくれることを紹介。

問 荒地の草刈りや道路の修復等の出会で草刈りやお茶代も出ないが考えてほしい。

答 国土保全や環境整備で農村整備課の多面的機能支払交付金に該当すると思われ、補助金申請を勧めます。ただこの交付金を適用すれば原材料支給は対象外になる。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月18日（月）午後7時00分～8時19分		
開催場所	米ノ庄公民館		
出席議員	海住恒幸、沖和哉、大久保陽一、永作邦夫、中島清晴、久松倫生、西口真理		
	司会進行者	中島清晴	
	報告者	久松倫生	
	記録者	西口真理	
参加人数	19名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成28年4月25日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第 3 班

代表者 海住恒幸

## 【主な質疑応答・意見等】

問 河川の修復の要望を出しているが、3割地元負担と言われた。小学校の通学路もいつまでたっても直らない。どうなっているのか。

答 議会としては、すぐにやりますとは言えないので心苦しいが、要望書を出してあるのであれば、自治会長を通して負担の事等問い合わせ頂きたい。

問 総合運動公園の予算、前回64億円と聞いたが、増えているのか。

答 全体の事業費としては増えていないが、全体計画をそのままというのは難しい状況もあるので、見直しは行われる。

問 全天候型グラウンドを造る予定は。

答 当初からコスト的に難しいという事で計画には入っていない。

問 前回の報告会で、津波時に運動公園に住宅を建てるとの話が出たがどうなっているのか。

答 具体的な話はないが、災害用の住宅はどこかに建てなくてはならないので、議会としても、運動公園の災害時の有効活用を要望した。

問 介護保険について、要支援の場合は全額個人負担と聞いたが、市としてはどういう考えか。

答 市として要支援の方への事業が実施される事はあるが、特別介護老人ホーム入所等の支援対象とはなっていない。国の施策であるので、なかなか難しくなっている。

問 自己負担が増えれば。デイサービスに行かない人が増えるのでは。

答 地域包括支援、つまり、出来るだけ介護保険を使わず、地域で支えて行こうという国の方策になってきている。

問 農業に対しての方向性が見えない。松阪市として米作りの今後をどう考えているのか。また、議会報告会を何故こんな農繁期の忙しい時に行うのか。議会として農業従事者の事も考えてほしい。

答 年2回の報告会は、議会日程から11月決算、4月新年度予算後の報告となっているが、時期に関しては持ち帰って検討する。

農業予算については、水田農業構造改革対策費、水田活用推進対策補助金等、予算が出ている。

問 三雲の公共下水道について、これまで個人負担は10万円だったが、まだ終わっていない所はどうなるのか。金額は上がるのか。説明してほしい。

答 平成28年度までは一戸あたり10万円と合併協議会で決まっているが、それ以降は見直す事になっている。旧松阪市内、嬉野は、1㎡あたりいくらとして所有地の面積に応じて負担している。三雲地区も統一する必要がある、1㎡あたり469円の面積割で負担していただく方向である。負担金額は、敷地面積の広さによって増える方もあり、減る方もある。

以上のような内容で議会に上程されたが、地域住民への説明が不十分であるとして、採決は行わず継続審査とした。昨日の鵜公民館を始め、各地で説明会が行われる。5月8日には、久米町公会堂で行われるので是非参加を。

問 下水道工事は遅れているが、今後どうなるのか。

答 当初の予定より遅れている。平成27年度末の普及率は約50%である。国から予算がついて進めていたこれまでとは状況も変わっており、合併浄化槽利用等も含め、受益者負担に関してだけではなく、今後の方向性を議会としても審査していきたい。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月18日（月）午後7時00分～8時55分	
開催場所	漕代地区市民センター	
出席議員	○松田俊助、米倉芳周、坂口秀夫、山本芳敬、川口保、水谷晴夫、濱口高志	
	司会進行者	水谷晴夫
	報告者	坂口秀夫
	記録者	川口保
参加人数	28名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成28年 4月 26日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会 第4班  
代表者 松田俊助

## 【主な質疑応答・意見等】

問 平成28年度の一般会計、特別会計、企業会計の合計が前年度比約31億円と大きく増加しているが、市長が変わったためか。

答 一般会計は622億になっており、前年より13億円くらい増えている。特別会計は国民健康保険、介護保険、後期高齢者会計がかなり増えており、増加した要因はその辺にあると思う。

問 国民健康保険税の課税限度額引き上げで、年収815万円で4万円の引き上げとなっているが、年金生活の場合、どれくらいの引き上げとなるのか。

答 今回の医療費の限度額の引き上げは、年収が815万円以上になると、それくらい上がるということで、低所得者層については前年並みと思う。さらに軽減が0.5割ある。国保会計の軽減世帯数は全世帯の6割を越えるというのが現状であり、国保会計はいつも大変な状態と思っていただいて良い。

問 櫛田川より伊勢側の漕代、機殿、東黒部地区は下水道を引いてもらえるのか、引いてもらえないのか、引いてもらえるとしたらいつになるのか聞きたい。

また合併浄化槽の補助金はこれまで出ていたが、平成28年に新しく家を建てる人が補助金の申請をしようとしたら、出ないと言われたということである。この辺のことについて教えてほしい。

答 先日出た松阪市の今後20年先までの下水道のプランによると、漕代地区は20年間の計画に入っていない。下水道が市街地地区から優先的に進められるのはやむを得ないところである。ただ幹線は法田から早馬瀬の方までは通っており、早馬瀬の一部では下水道が整備されている。地域としては20年先とは言わずにもっと早くしてほしいという要望があれば、自治会でまとまって下水道部に要請をしていけば、今後検討の余地はありえるということである。

合併浄化槽の補助金については、近々に下水道が来る所はだめだが、本年度も予算がついている。改築の場合で単独槽や汲み取り式から合併層に変更する場合は補助金が出るが、全くの新築の場合は補助金が出ない。

問 住民協議会と連合自治会の立ち位置と住み分けについて議会でも議論されていると思うが、書かれたものがあれば教えてほしい。

答 住民協議会と連合自治会の関係については、市長部局の方もあいまいのままであるというのは理解している。住民協議会も人口2万人程度のところから、150人程度のところまであり、条件が異なっているので、その辺も踏まえて今後地域で協議しながら条例をどのように具体化していくのかということになり、今のところ具体的な文

書はない。

問 今後どのようにもっていくのか。

答 具体的にどのようにもっていくかは決まっていない。

問 予算が編成される時、地域の要望を議員から行政に働きかけはできないのか。国会でいう議員立法はできないのか。

答 国会と市議会は少し違い、市議会は執行権や予算編成権はない。市長部局に要望を議会で議決して出していくことはできるが、予算を伴うものは出せない。

問 それぞれの議員は地域の要望を行政に出されているのか。

答 議員も地域の個々の要望はよく聞くが、あくまで自治会を通して市の方に要望書を出してもらうようお願いをしている。議員も自治会の要望に沿った後押しはできるが、あくまで基本は自治会を通じて出していただくこと。

問 選挙のたびに議員定数削減を訴える候補者もいるが、議員定数は20人もいれば十分と思うが。

答 議員定数を削減するプラス面は市議会議員に払う報酬や政務活動費など市の税金が少なくすむこと、一方マイナス面は行政に対するチェック機能が弱ってくること、その辺のバランスをどう取るかである。松阪市の議員定数が何人がよいか論理的に説明できる人は一人もいないと思う。そのため類似団体などを参考にして決めていくが、今度学識経験者による松阪市の議員定数を審議する委員会が結成される。

問 全国で耕作放棄地が増えつつあり、富山県全域くらいの面積が耕作放棄地になっている。松阪市では中山間地で農地が山林原野になってきている。議員の皆さんはどのような考えをもっているのか聞きたい。

答 全国では耕作放棄地が約40万haある。市内全域では536筆、約35haの耕作放棄地があり、農耕地6,600haの約0.6%が耕作放棄地となっている。

松阪市では中山間地も含めてほ場整備されたところではほとんど放棄地はないと思われるが、中山間地では放置された茶畑が「茶山化」しているところもあり、ソーラー発電への利用も考えられる。

問 耕作放棄地をどうするのか。

答 農業委員会では管内の農地をパトロールして、放棄地に対して地権者と協力し、農業委員自ら草刈や整地作業を行い、また利用権設定を行い放棄地の解消に努めている。圃場として改善されたのは、調査開始から通算で、321筆、23haとなっている。

飯南飯高では「ししとう」や「えごま」の栽培をしたり、伊勢寺地区では住民協議会が放棄地の対策に取り組んでいる。また漕代地区では自治会単位で放棄地をどうしようかと対策に取り組んでいる。

**意見** 漕代地区は若い人が入ってこなくて、少子高齢化を絵に描いたような地区である。この中で幼稚園が数年先に廃園になるのではないかという問題を抱えている。このような地区を何とか活性化する方法はないものかと思うが、市街化調整区域で何も建てることできない。このような地区の大きな問題を理解してほしい。

**意見** 熊本地震に関連する話しをしたいが、伊賀町（豊原町）から早馬瀬にかけての旧伊勢街道が活断層である。松商や総合グラウンドが避難場所になっているが、このことについて徹底的に研究してほしい。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成 28年 4月 20日 (水) 午後 7時 00分～8時 27分	
開催場所	仁柿小学校	
出席議員	西村友志、楠谷さゆり、松岡恒雄、植松泰之、中村良子、今井一久、田中 力	
	司会進行者	楠谷さゆり
	報告者	松岡恒雄、植松泰之
	記録者	松岡恒雄
参加人数	25名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成 28年 4月 27日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 1 班

代表者 西村友志

## 【主な質疑応答・意見等】

問 飯南地域の川の決壊等の風水害、山崩れ等の土砂災害についての議論はされなかったのか。

答 今回の議会報告会では主に風力発電について報告させていただきました。常任委員会審査では、茶倉の指定管理、育集林事業等についての議論がありました。

問 北部学校給食センター建設について、今日の報道で、税の無駄遣い、監査請求とあった。議会でどのような議論がされたのか。

答 議会で正式に取り上げられている問題ではなく6月議会でしっかり議論していく。

問 郷土の歴史等の学びについて、本庁管内に限らず飯南、飯高地域の郷土の偉人等についても取り上げ学んでほしいと考えるが。

答 地域の偉人の歴史をしっかり学び取り上げていくよう、教育委員会に伝えていく。

問 合併以前は、町、市、県、国の壁を超えインフラ整備に力を注いでいただいたが、現在はその姿が見えないが、県、国と連携しどのようにインフラ整備しようとしているのか。

答 市の方から県、国にも要望している。地元地域の熱意のお声も大変重要であることから、行政、議会、住民が一緒になって県、国へ要望していただきたい。

問 飯南地域へ研修視察に来ていただきたいが。

答 是非、松阪市議会に要請していただきたい。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月20日（水） 午後7時00分～8時05分		
開催場所	中原文化センター		
出席議員	大平 勇、 深田 龍、 堀端 脩、 野呂一男 山本 節、 松田千代、 前川幸敏		
	司会進行者	山本 節	
	報告者	深田 龍、 松田千代、 大平 勇、 前川幸敏	
	記録者	堀端 脩	
参加人数	11名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成28年 4月22日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第2班

代表者 大平 勇

## 【主な質疑応答・意見等】

問 北部学校給食センターの建設に関して、地震による津波が発生した場合、浸水が避けられないのではないか。

答 2mの嵩上げでは不安があり、反対の立場からもう50cm必要であるとの意見があったが、賛成多数で可決された。

問 風力発電について、一度は反対により事業が中止になったが、なぜまた話が出てきているのか。

答 前回の業者とは別会社で、竹上市長は環境保全審議会の答申を重要視していくとしている。また環境影響評価委員会を立ち上げるとのことで、十分住民の意向を酌んでいただきたいと意見を加えた。

問 海上アクセスベルラインで、松阪からの乗船が少ないが、津なぎさまちまでの公共交通機関運賃を含めると、松阪航路を利用した方が安くて済むので、市民としては残してほしい。

答 松阪港から乗船される方が少ないが、5,000人アンケートを取ってもらっているので、市民の声を重視していく。

問 議会報告会の参加者が少ないのもっと周知方法を考えてはどうか。

答 広報やアイウェーブ松阪等、市と同じ方法で呼びかけているが、議会報告会への認識が薄いと思われる。今後もいろいろと検討していく。

問 住民協議会の規模に差があると言う事だがどれぐらいの人口比か。

答 花岡地区で約20,000人、嬉野宇気郷で約180人である。

意見 防災については、地震の場合何時発生するかわからない。日頃より備蓄品の確保が大事である。

## 議会報告会報告書

開 催 日 時	平成28年 4月20日 (水) 午後7時00分～8時08分		
開 催 場 所	大河内地区市民センター		
出 席 議 員	海住恒幸、沖和哉、大久保陽一、永作邦夫、中島清晴、 久松倫生、西口真理		
	司会進行者	久松倫生	
	報 告 者	西口真理	
	記 録 者	海住恒幸	
参 加 人 数	18名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 大 平 勇 様

平成28年4月27日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第 3班

代表者 海住恒幸

### 【主な質疑応答・意見等】

問 風力発電について議会はどの程度説明を受け、理解しているのか。

答 この問題について、議員個々の質問はあったが、議会として説明を受けていないし、議会としてコンセンサスを作っているわけではない。

問 新聞によると、風力発電の計画地の7～8割は市有地であると聞いている。それについて、議会としてどう考えるか。

答 2つの計画があって、そのうちの1つは、12基の風車が予定されているうちの11基は市有地の上に計画されており、市有地が9割を占める。議会には正式な説明がないのであるが、議決案件ではないため、議会として判断をすることはしない。

問 慣れ親しんだ市役所の機構の名称がよく変わる。(以前は建設部だった)都市整備部は、われわれ、中山間地に暮らしている者にはぴんときないが、みなさんはどのような考えか。

答 あまりころころと変わるべきではない。名称を変えて中身も変わっていく印象を与えるが、(実際は変わっていない)正直戸惑う。わかりにくいというのが実感である。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月20日（水）午後 7時00分～8時50分	
開催場所	港地区市民センター	
出席議員	○濱口高志、米倉芳周、坂口秀夫、山本芳敬、川口保、水谷晴夫	
	司会進行者	川口 保
	報告者	坂口 秀夫
	記録者	山本 芳敬
参加人数	7名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成 28年 4月 26日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会 第4班

代表者代理 濱口 高志

## 【主な質疑応答・意見等】

問 下水道の受益者負担金の土地面積割りは不公平ではないか。

答 三雲地区も線引きが行われ、土地の利用状況が変遷していく可能性があることから松阪地区、嬉野地区と同様の土地面積割りに変更する。立場立場で意見の違いはあるが、今の土地面積割りの方がより公平と考えている。

問 まつさかの木を使用したワクワク快適な家づくり事業補助金450万の内訳は。

答 住宅の基本設計に15万円の25棟分で375万円、地域材利用促進事業で150万円の補助率1/2で75万円、合計450万円である。

問 床上浸水の話もあったが港地区の浸水はどれ位になるのか、松阪地区の断層はあるのか。市民にわかりやすい資料はないのか。

答 1000年に一回と言われている東海、東南海、南海の3連動の地震が起こった場合、海岸側の6m堤防が沈下し国道23号線あたりで2m位の津波がくると想定されている。津波ハザードマップは行政にある。また、松阪の断層は、中央構造線が飯高の月出にある。また、活断層は、阿坂の高速道路のあたりに布引山地の断層が通っている。他にも断層はあることから、執行部にしっかりと調査し公表してもらいたいと要望している。

問 議員提案の条例は年間どれくらいあるのか。

答 議員は、予算を伴う条例提案は出せないで殆ど無い。予算を伴わない理念条例なら出せる。

問 ポケットパークにトイレがない。産業振興センターも利用できない日時もある。なぜトイレを造らなかったのか。駐車場はどう考えているのか。

答 観光拠点の整備の中でトイレも整備する予定であったが、市長が代わり公共施設の全体的な再配置を計画する「豪商のまち中心市街地土地利用計画」を28年度で作成するとしている。トイレ、駐車場もその中で検討されると考える。

問 鎌田中学校の校舎建て替えて、中学校区の地域の人々が学校へ出向いてもらえるような校舎を検討している。体育館は避難場所になっているが、床はコンクリートである。避難が長期になることも想定し床を木に仕上げるなど、避難所としての機能も考えた校舎に仕上げてもらえないのか。

答 今後、鎌中建設における地域と行政との協議の中で、校舎建設検討の中で体育館建て替えがあれば避難場所としての構造を協議要望していただきたい。

**問** コミュニティスクールは地域の皆さんのご協力があって運営が出来ている。この地域で育った子どもたちが、将来この地域に帰ってきてまちづくりや自治会活動を担ってもらえるような地域を創っていききたい。しかし、PTAや保護者は共働きの多いこともあり、PTA活動やまちづくりの活動への参加が少なく意識が低い状態である。地域活動を維持していく上で色々な問題もあるが、地域が健全に残っていくための手立てがあれば教えてほしい。

**答** 地域のコミュニティで交流が深いところでは、モンスターペアレンツや子どもたちの問題も少ない。港地区は、学校を中心としたまちづくりの観点からもコミュニティスクールの素晴らしいモデルである。まだまだコミュニティスクールが認知されていないので、これから松阪地区全域に広めていくためにも、理事長にはご講演など力を貸していただきたい。

**問** 住民協議会の交付金の活用の仕方、役員の手不足を議員としてどう考えるのか。交付金の活用の仕方において、繰越金は出来ないのか。また、役員手当は出ないのか。

**答** 住民協議会条例制定において議会として付帯決議をつけ可決をした。

竹上市長になり、住民協議会は行政が地域にお願いして作って頂いた組織であると明言したことは、行政の考え方の大きな変化である。行政自らが汗を流し、地域の住民協議会、自治会、公民館等と協議の場を持ち、イニシアティブをもって整理をするようにと、付帯決議をつけた。

その協議の場で、繰越金や役員手当の問題も話し合ってもらいたい。

**意見** 港幼稚園も人数が減ってきており、教育委員会の存続の人数制限15名未満となることが予想され地域協議に入らなければならなくなった。3歳児保育が出来れば増え存続ができる。また、1時間の延長保育をしてくれれば、増えると思うが出来る方法はないのか考えてほしい。

**意見** 勢和、多気、大台などは学校支援に力を入れている。子どもたちが本になじむ環境をつくるには、司書の活用が大事である。近隣の津市、多気町、明和町では小中学校に司書を週一回必ず派遣している。松阪市も人的な配置の充実をしてほしい。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年 4月22日(金) 午後 7時00分～8時38分	
開催場所	西黒部地区市民センター	
出席議員	西村、楠谷、松岡、植松、中村、今井、田中	
	司会進行者	楠谷さゆり
	報告者	植松泰之、松岡恒雄
	記録者	楠谷さゆり
参加人数	18名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成28年 4月 27日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第 1 班

代表者 西村友志

## 【主な質疑応答・意見等】

問 三重県で最低である松阪市の国民健康保険税収納率を上げるという努力をせずして、課税限度額をアップするのは残念なことだ。行政に収納率をあげる知恵を絞っていただきたい。

答 国民健康保険税の滞納を含め、松阪でのすべての滞納額は約 60 億円から 57 億円くらいに減じた。少しずつ行政も努力しているし、議会も監視している。

問 金剛川の下流に住んでいるが、ゴミの集積がひどい状況である。上流は清掃が進んでいるが、下流もなんとかしていただきたい。

答 金剛川は二級河川で、県の管理である。県への要望はなかなか通り難い事実があるが、市と県で再度話ができるよう、担当部局に申し伝える。地元と市と県が手を取り合って進めていけたら思っている。

問 地元では 3 箇所の排水機ポンプの委託を受けているが、発電機が付いているのは 1 箇所のみで、災害発生時には排水機が動かない可能性がある。残りの 2 箇所にも発電機をつけてもらいたい。

答 東日本大震災では、発電機さえも役に立たなくなったところがあった。排水と湛水防除は異なるシステムであるが、湛水防除事業を含めて今後どのように進めていくのか、当局とも協議をしていく。

問 勢々川にはゲートがあり、自動的に閉門すると、満潮時には浸水する地域がある。湛水防除だけでは不十分であるので、対策を考えて欲しい。

答 住宅が浸水するなら、湛水防除だけでは解決することではないと思われる。県と市の検討会が初めてできたので、その課題に挙げていけるよう要望する。地元からも声をあげて欲しい。

問 住民協議会と自治会のやることの違いがわからない。

答 運営マニュアルの図にもあるように、大きな枠が住民協議会あり、その中で最も重要な担い手が自治会である。住民協議会と自治会の重なり具合については、地域によって異なるものである。議会は 2 月定例会で住民協議会条例を可決したが、市長部局がさらに協議を重ねていくよう付帯決議を付けた。

問 松阪では避難タワーについてどのような考えなのか。全く遅れているのではないか。

答 松阪は内海に当たるので、津波が来てもタイムラグがあると考えられる。そこから、避難タワーではなくて避難ビルを増やす方法を取っている。しかし、それでは市民の

不安が大きいという声を議会でも上げていきたい。

問 議員定数削減についてはどう考えているか。

答 有識者で作る「議員定数のあり方調査会」を立ち上げ、専門的知見でしっかりと議論し、理論付けをする。その答申を受けて最終的に議会としてどうするかを審議する。

問 西黒部の中村地区は櫛田川の輪中になっており、災害があると助けに行くこともできなくなる可能性がある。特区として指定してほしい。

答 担当部局に伝える。

問 西黒部小学校は第一避難所になっているが、雨漏りがする。対策をお願いしたい。

答 教育委員会も含めて行政にきちんと伝えていく。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月22日（金） 午後7時00分～8時45分		
開催場所	第一公民館		
出席議員	大平 勇、 深田 龍、 堀端 脩、 野呂一男 山本 節、 松田千代、 前川幸敏		
	司会進行者	山本 節	
	報告者	深田 龍、 松田千代、 大平 勇、 前川幸敏	
	記録者	野呂一男	
参加人数	19名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成28年4月25日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第2班

代表者 大平 勇

## 【主な質疑応答・意見等】

問 発達障害はすぐには見つからない。幼稚園・小中学校からの要請があれば動くということであるが、発見は難しいのではないか。

答 現在、行われている3歳半児検診等での発見が多い。しかし、障害があると診断されるまでには半年待ちという現実があり、早期の対応が望まれている。「子ども発達総合支援センター」が出来たことで、専門家などと連携して相談等の支援体制を整える。

また、幼稚園・小・中学校での障がい児保育や特別支援学級には、生活支援員が配置されている。センターが出来ることによって、この体制がより充実したものになっていく。

問 風力発電の計画が浮上したときも健康面に対する不安の声もあり、計画は実行されなかった。今回、同じ場所に造るということはどうなるのか。

答 今回もほとんど同じ場所に造るという計画であるが別会社である。環境アセス法の対象事業であることから、竹上市長も環境変化による影響が大きいため、地域への情報提供と理解を得ることが必要としており、議会としても騒音や低周波など健康への影響などもしっかりと調査し、十分に住民の意向を酌んでいただきたいと意見を加えた。

問 「豪商のまち」中心市街地土地利用計画作成事業費1,532万円の予算の根拠は。地域の声は聞かないのか。市長の提案か議会は認めたのか。

答 三井家発祥の地ということで名づけられたが、今後の松阪市の20年先を見越してどのような街づくりをしていくのかを専門家を交えて考えていくための予算である。部分部分の開発計画から基本構想・基本計画・実施計画の段階を踏んでいく必要がある。

作成には現況調査、市民の意見を取り入れるため住民説明会やパブリックコメントを実施し、計画変更に反映させる。

この額は、あくまでも見積もりであり全額使うということではなく、予算内で契約する。20年先を見た時、しっかりとしたものにしたいたいということで議会は認めた。

この予算に対して市の方向をしっかりと見て行ってほしい。

意見 市民のためにお金は有効に使ってほしい。

問 高度急性期病院とはどういうものか。市民病院は2次救急ということであるが1次から5次までの説明がない。

答 松阪市には急性期病院として中央・済生会・市民病院があるが、ともに手術を中心

とした急性期医療の病院として運営され、休日・夜間の救急患者受け入れも病院群輪番制態勢の中で実施されてきた。しかし、国の地域医療構想の中で、県から急性期のベッド数を減らすようにという流れの中で、松阪市民病院は急性期病床を39床「地域包括ケア病床」に変換した。

この病棟は、急性期を脱して退院や施設へ入所などの場合に、この病棟でリハビリ治療を受けたり、退院に向けた家族も含めた訓練・相談などを行い、更に、施設や在宅からの緊急入院なども受け入れられる病棟として運営される。市民にとってもメリットのある病棟である。松阪地域では広域で対応する3次救急の体制は確立している。4次・5次については必要なら要請する場合はあるが、大都市圏のように体制的に整備されているというわけではない。

問 潜在専門職トレーニングプロジェクト事業費予算103万円の根拠は、2日間の研修や1日だけの交流会で現場復帰できるのか。

答 今回は地域に少ない人材を掘り起こしていくための啓発費で、看護師・介護士・保育士の3部門の専門職が対象である。

この事業は、あくまでも慢性的に不足している専門職でいったん都合により離職した人を対象として、再就職を支援するのが目的である。

また、国が進める1億総活躍社会にも当てはまる。

問 市内に3,000人いる外国人のうち500人はフィリピン人である。

事故など救急車で運ばれた場合、タガログ語通訳者を市民病院にも配置する必要があるのではないか。

答 タガログ語が話せるからといって、医療用語を理解し通訳できるとは限らないが今後検討していくことも必要だ。

問 看護師・介護士・保育士は心理的に追い込まれる職種であるが、心理カウンセラー配置しないのか。

答 配置していくことは必要だと考える。

問 旧松阪市当時、戦没された兵士の手紙を集めた「ふるさとの風や」が発刊された。その後、平成17年1月、松阪市は旧4町（飯南・飯高・嬉野・三雲）と合併、4町にも多くの戦没者がみえるのでこれらを加え発刊してはどうか。

答 執行部に確認したところ、「戦後70年復刻版ふるさとの風や」は昭和41年に「松阪市戦没兵士の手紙集」として発刊、平成7年に復刻版として再発行、平成27年度には、新書版としてA判で再復刻をした経過がある。

要望事項として執行部に伝える。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成 28 年 4 月 22 日（金）午後 19 時 00 分～20 時 26 分	
開催場所	飯高健康センター	
出席議員	海住、久松、中島、永作、大久保、沖、西口	
	司会進行者	永作邦夫
	報告者	大久保陽一
	記録者	沖和哉
参加人数	7 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成 28 年 4 月 25 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 3 班

代表者 海住 恒幸

## 【主な質疑応答・意見等】

問 28年度の予算増の理由は。

答 高齢者への緊急支援金分の国費負担額により増えた分が大きい。  
また、給食センター等の各種建設費の予算もある。

問 市営住宅の滞納について。60ヶ月分の滞納者が多いとのことだが、滞納累計額は。  
また、滞納整理など、そこまでお金をかけて市営住宅を維持する必要があるのか。

答 住宅費の全体予算は3億円を超える。累計額については資料を持ち合わせていない。  
公営住宅は基本的に低所得者への住居確保が主な目的である。高齢者等による滞納が増えてきているが、公平性の観点から、経費がかかりつつも、家賃収納を進めていく必要がある。現在、市営住宅あり方検討委員会での審議もあり、今後検討・協議を進めていく。

問 生活保護の方などの滞納もあるとすれば、社会福祉の意義も理解はするが、最低限の公平性や義務を果たしてもらうことが必要だと考える。年金等からの引き落としなど、効果的な収納方法を検討すべきだと考えるが、どうか。

答 生活保護に関しては住宅扶助があることから、滞納はない。今後、さまざまな観点で市営住宅のあり方について検討していくべきであるとする。

問 竹上市長に代わったが、議会との関係は。

答 基本的に、二代表制として、是々非々の関係である。市長が誰であるかということが問題なのではなく、議案ひとつひとつに真摯に向き合っている。今回、報告内容にもあったが、下水道関係の議案では、早急な決議をせず、継続審議とした案件もあるように、今後も丁寧に議会運営を行っていく。

問 都市部と山間部での違いについて、われわれの地域では、住民協議会と自治会は別物で当然だと考える。新聞報道では、市長は自治会と統合したいようなニュアンスが見て取れたが、議会はどのような認識か。

答 今議会において、自治会連合会との関係性や、交付金の交付のあり方等、早急に各地区での協議・検討を進めていくべきだとの意見を提出した。市長としても、何が何でも住民協議会と自治会との統合を進めるといった認識ではないと思う。

問 住民協議会の元気応援事業について。

継続事業を進めることも重要なのに、新しい事業しか補助が出ない。次から次へと新しい事業を展開することは人間的にも難しいが、どう考えるか。

答 報告内容にもあったが、議会としても課題と考えている。事業の採用はもちろん、各住民協議会の参加・不参加も含めて、公平性を保つように意見を伝えている。

問 香肌小学校について。現在すべての学年が複式学級である。目の届く範囲で学級運営ができると先生方は言われるが、今後の子どもの数で予測すると、これからの学校統合はどうなるのか。

答 由々しきことと考えている。今後もし学校の統合といった課題が発生すれば、まず地域の住民の方々の意見を聞いていくことが第一と考える。

問 北部学校給食センターについて。住民監査請求が出ていたと記憶するが、何か。

答 給食の米飯についての課題である。市は委託したほうが15年間で4,400万円安くなるとの見解だが、住民監査請求された方の認識は、その見積もりがおかしいという思いからの請求であった。

問 木質バイオマスについて。買い取り価格が違うのはどうしてなのか。

手続きがかなり煩雑で、あの手続きをするのなら持ち込みたくないという人も多い。このままでは資材が枯渇するのでは。

答 森林活プロジェクトとして、森林組合が窓口となって進められている。手続きに関しても委員会で取り上げたこともあるが、森林組合を通して簡易化させてもらっているとのことである。買取価格については、松阪市が最初に取り組んできたことで、後発の地域はより高額なのかもしれない。今後研究させていただく。

問 市議会議員選挙の定数はどうか。

答 松阪市議会議員定数のあり方調査会を立ち上げる。大学教授など学識経験者の方4人。第1回が、5月6日に開催される。今年中に最終的な答申をいただき、それを踏まえて、議会で判断していくこととなる。

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月22日（金）午後7時00分～8時37分	
開催場所	嬉野宇気郷公民館	
出席議員	○川口保、米倉芳周、坂口秀夫、山本芳敬、水谷晴夫、濱口高志	
	司会進行者	水谷晴夫
	報告者	坂口秀夫
	記録者	濱口高志
参加人数	28名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 大平 勇 様

平成28年4月26日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第 4班  
代表者代理 川口保

## 【主な質疑応答・意見等】

問 風力発電の事業者の説明はずさん。補助金目当てではないか。

答 建設予定地は土砂災害の心配もあり、住民の合意がなければ事業化できない。

問 太陽光発電が増えている。台風でパネルが飛びそうなものや、防草シートが1週間でめくれあがっているもの、民家に向かってパネルが設置され家の温度が上がるもの等多くの問題がある。行政として何とかできないのか。

答 法律で規制できないので、今の行政施策の中で止めるのは難しい。

問 休日に子どもを小児科に連れていこうとしたが、どこにも断られ玉城町の医院まで行った。何とかならないのか。

答 春日町の休日夜間応急診療所、もしくは久保町の「いおうじ応急クリニック」で対応している。

問 若い人が農業をやりたいと移住してきているが、獣害がひどい。何か施策はないか。

答 柵の設置に対して5万円を上限に材料費の1/2の補助制度がある。

問 議会は年に何回開かれているのか。

答 定例会が4回と8月の役員選挙のための臨時議会が1回。それ以外にも緊急の案件があれば随時開会される。

問 山中市長の時の図書館問題はどうなったのか。

答 P F I という手法が問題視され3回否決した。その後、議会で図書館改革調査特別委員会を設置し、そこで議論し、P F I ではなく従来手法で改修、運営を実施する方向で話が進んでいる。仕様は違うがP F I より1億円以上安くできる予定である。

問 若い人で田舎に住みたい人がいる。飯南・飯高には空き家バンクがあるが、他にいい手立てはないのか。

答 飯南・飯高の空き家バンクもそう多くない。また移住者はリタイヤ組が多い。空き家はたくさんあるが、中の物が整理できないので貸せない状態の家が多い。

問 市民病院の駐車場が狭く、空いているところがないので予約時間に間に合わないことがある。グラウンドに停められないか。

答 グラウンドは雨の日に車を入れると、後の処理が大変なので難しい。

**意見** 美杉（下ノ川のごみ処理場近く）にいい温泉ができ、住民は10円で入れる。  
このあたりにも作ってほしい。

**問** 一次予防対象高齢者施策とはなにか。

**答** 簡単に言うと、元気な高齢者がボランティアで高齢者の世話をし、ポイントを貯める。そのポイントで年間最高5,000円もらえる制度など、65歳以上の高齢者の介護予防の施策。

**意見** 県道29号線の拡幅工事がサミットの影響で止まっている。早く工事してほしい。

**問** 台風で河川が決壊した場合、復旧するのに個人負担は必要か。

**答** 河川の復旧は公費で実施する。